

バスに乗ってお出かけしよう



市内に路線バスの停留所がいくつあるかご存知ですか？市内には、路線バスが鉄道路線を補完するように運行しており、鉄道駅23カ所に対し、約600カ所もの停留所があります。バスは通勤や通学だけでなく、お買い物やお出かけなども駐車料金を気にすることなくゆっくり楽しむことができます。ぜひ、身近な公共交通「路線バス」に乗ってふれあいや交流の機会を増やし、魅力ある西宮の再発見にお出かけください。

“市内を走るバス”

北部地域

阪急バス

北部地域を横断する



南部地域と北部地域を結ぶ

さくらやまなみバス

南部地域から日帰りでも有馬温泉にも行ける



南部地域

阪急バス

甲山で生き物観察やピクニック 季節の花が楽しめる北山緑化植物園にも

阪神バス

野球観戦や酒蔵巡り、西宮浜・鳴尾浜にも

みなと観光バス

阪急夙川駅から芦屋方面へのお出かけに



“えきバスまっぷ。”でどこまで行ける？

阪神都市圏(7市1町)を走るバスの路線をまとめて見ることができる“えきバスまっぷ。”で、あなたの家からどこまで行けるか見てみませんか。



“えきバスまっぷ。”は交通計画課(市役所南館3階)、市役所本庁舎1階総合案内所横、各支所などで配布しているほか、市のホームページ(ページ番号:69586022)でもご覧いただけます。

バスの“お得な乗り方”

・定期券1枚でバス3社が乗り放題

hanica(ハニカ)定期券(ICカード)を持っていれば、定期券の券面運賃以下の区間内で阪神・阪急・さくらやまなみバスの各路線を乗車(相互利用)することができます。



・65歳以上の人にはさらにお得な定期券

市内を運行する阪神・阪急・さくらやまなみバスの一般路線を全線フリーで乗降できるhanica(ハニカ)グランドパス65を販売しています。

※いずれも高齢者交通助成割引購入証が利用できます

“バスでお出かけしたくなる”市の取組

・バス停の上屋やベンチの設置に費用を補助

歩道幅員に余裕があるバス停では、バスの待合環境の向上のため、上屋・ベンチの設置を積極的にバス事業者へ促進し、その費用の一部を補助しています。



・ノンステップバスの導入に費用を補助

誰もが暮らしやすくお出かけしやすい環境を確保するため、バス事業者のノンステップバス導入費用の一部を補助しています。

交通施策にあなたの意見を

市は、市民の皆さんの意見を公共交通施策に反映させるため、10月に西宮市都市交通会議の市民委員を公募します。市の公共交通の利便性向上や交通施設の整備にご協力いただける方はぜひご応募ください。



詳細は9月頃に市のホームページや本紙で広報する予定です。

問 交通計画課(0798・35・3527)

市職員を募集 事務(高校卒・身体障害者)、保育士、消防職

来年4月採用予定

市は、来年4月採用予定の職員を募集します。募集要項・申込書は、8月10日から各担当課などで配布するほか、市のホームページ(ページ番号は右表参照)からダウンロードできます(高校卒業見込みの人は学校所定の統一応募用紙を使用)。申込は期間中に担当課へ持参か郵送(消印有効)を。

1次試験は9月15・16日(保育士、消防職は16日のみ)。

職種・定員	対象者	基本給月額	申込期間・担当課	ホームページ番号
事務B(高校卒) 若干名	平成10年4月2日～13年4月1日に出生し、30年度中に高等学校を卒業した人または卒業見込みの人。定時制・通信制課程の場合は、平成6年4月2日～13年4月1日に出生した人で、30年度中に高等学校を卒業した人または卒業見込みの人	18万2045円(18歳高校卒)	8月10日～31日に人事課(市役所本庁舎5階 ☎0798・35・3549)	35388579
事務C(身体障害者) 若干名	昭和61年4月2日～平成13年4月1日に出生し、身体障害者手帳の交付を受けている人	21万2290円(22歳大卒) 19万6075円(20歳短大卒) 18万2045円(18歳高校卒)		
保育士 6人	平成2年4月2日以降に出生し、保育士登録を受けている人(来年3月末までに保育士となる資格を有し、登録見込みの人可)	19万6075円～ 25万355円	8月10日～24日に保育所事業課(市役所本庁舎7階 ☎0798・35・3184)	95311849
消防職(高校卒程度) 8人程度	平成9年4月2日～13年4月1日に出生し、次の要件を全て満たす人▷左右それぞれ視力0.3以上で両眼で0.7以上(眼鏡等による矯正視力でも可)▷赤・青・黄色の色彩の識別ができること▷聴力、言語および運動機能等に障害がない	19万9295円(18歳高校卒)	8月10日～23日に消防局総務課(消防局庁舎3階 ☎0798・26・0119)	83304518

※基本給月額は平成30年4月1日現在の額。経歴、給与改定などにより異なる場合あり。また、別途諸手当あり

地域で活躍する皆さんを紹介 No.18

●●● 白澤秀幸さんに聞きました ●●●

大阪市で小学校教員として勤めた後、地域のために活動したいとの思いから図書館おはなしボランティアに参加。平成23年1月から活動を開始。ボランティア養成期間を経て、手遊びや歌を取り入れたおはなし会を実施。

「地域でも活動しています」



図書館おはなしボランティアは、おはなし会で絵本などの読み聞かせをするボランティアグループです。図書館が行う養成講座を受けた後に養成期間を経て活動しているグループと、以前から地域で活動しているグループがあり、現在は24のグループが図書館や児童館、乳児健康相談会場などで市民の皆さんに本に触れる機会を

図書館おはなしボランティア

提供しています。私たちのグループ「ぐるんぱ」は、留守家庭児童育成センターなどで月に10回程度、おはなし会を実施しています。また、市民祭りや子育てイベントにも参加しており、幅広く活動しています。最近では、子供向けだけでなく、シニアに向けて実施することもあります。

「本で人が楽しんでくれる喜び」

グループのメンバーは元々本が好きだった、子供と関わる活動がしたかったなど、さまざまな動機でボランティアになっています。

おはなし会を通じて子供や地域のために役立ちたいという思いは共通で、本で人が楽しんでくれることに喜びを感じています。

地域に出向いて本の魅力を広めたい

おはなし会を定期的に行っている場所では、いつも楽しみに待っていてくれる子供もいます。本を読んでいるうちに、聞いている子供が話に引き込まれていく様子が分かったりすると、とてもやりがいを感じます。これからも、おはなし会に参加した人が本を楽しむことで、自分の世界を広げてもらえればと思います。



おはなしに夢中な子供達

問 北口図書館 (0798・69・3151)